

普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)8月21日
所属名：東近江農産普及課(東部)
番号：D23008
部門分類：140(飼料作物)
発信者名：松嶋、田中(義)

稲 WCS 専用早生品種「つきはやか」が順調に出穂しました

東近江管内で稲 WCS 専用早生品種である「つきはやか」が、7月下旬に出穂しました。昨年度に引き続き東近江管内では2回目の作付けになりますが、昨年度よりやや早い(2~4日)出穂であり、生育は順調です。

この品種は作期分散の意味から導入され、昨年度、竜王町(Aコントラクター)と東近江市(Bコントラクター)で作付けされました。標準収穫量はサイレージロール(約300kg/個)8個/10aです。

Bコントラクターはサイレージロール10個/10aと標準量以上獲れましたが、Aコントラクターは約6.3個/10aと少なくなりました。Aコントラクターで収量が低かった原因については、当課の実施した生育調査の結果とともに関係機関とコントラクターで協議し、①作付け地が山沿いの地であったことにもかかわらず平地の感覚で作付けしていたこと、②水管理が上手くできていなかったこと等が原因であることを確認しました。今年度は水管理や栽植密度の増加等の改善を当課から伝え、それに応じた対応をとっていただくことになりました。

Bコントラクターについては大きな問題は昨年度ありませんでしたが今年度も「つきはやか」の収穫量を注視しています。

今後、当課としては生育調査を継続しながら適正な時期に収穫できるように、両コントラクターに対し支援していきます。



A コントラクター作付けの「つきはやか」
7月28日状況(出穂は7月26日)



B コントラクター作付けの「つきはやか」
7月31日状況(出穂同日)